

# 第89回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナー(高知)

四国本部 幹事  
高知県支部 事務局長  
松本 洋一  
MATSUMOTO Yoichi



## 1. セミナーの概要

2023年11月24日(金)に、「高知会館」において、第89回CPDセミナー・公開講座・防災セミナーを開催いたしました。セミナーには56名(うちWeb参加3名)、懇親会は38名と多数のご参加をいただきました。

表1 プログラム

### 1. 開会(14:00~14:10)

開会挨拶

(公社)日本技術士会四国本部副本部長 河野 一郎

### 2. CPDセミナー(14:10~15:10)

演題:“本来の一次産業を取り戻すための里山工学”

講師:高木 方隆 氏(高知工科大学教授 農学博士)

### 3. 公開講座(15:20~16:20)

演題:“高知の発掘最前線”

講師:吉成 承三 氏(高知県立埋蔵文化財センター調査課長)

### 4. 防災セミナー(16:30~17:30)

演題:“高知市公共下水道事業における災害対策”

講師:長崎 宏昭 氏(高知市上下水道局下水道整備課 課長)

### 5. 懇親会(18:00~20:00)

開会挨拶・乾杯 副本部長 河野 一郎

中締め 四国本部事業副委員長 大西 誠一

## 2. CPD セミナー 高木 方隆氏

高知工科大学システム工学群教授の高木方隆氏より「本来の一次産業を取り戻すための里山工学～地域に適合した持続可能な生活基盤を整える～」と題してご講演をいただきました。

里山工学とは、歴史文化を背景に、科学的な知見に基づき、流域圏における自然と暮らしの繋がりを追求する学問であるとの説明がありました。

基盤となる科学技術として、未来を計画するための歴史民族情報の集積も重要な課題であり、地理情報システムGISで管理し、解析している。生態系や動植物などの自然環境を計測し、様々な生物の役割・相互作用について科学的な知見を見出し社会実装に繋げている事例についても紹介いただきました。地域で豊富な経験や情熱を持って活動する市民研究者とのコラボについても興味深く地方大学の機能として有効と感じました。

高木先生は、2018年から里山暮らしを実践されています。バイオマスの利用を基本とし地域の食材や酵母など自然の力を最大限に活かした高自給率で質も高い暮らしを目指している。熱く語られる姿から里山の魅力や豊かさとは何かを考える機会となりました。



写真1 河野副本部長の挨拶



写真2 高木氏の講演

### 3. 公開講座 吉成 承三 氏

高知県立埋蔵文化財センターの吉成承三氏より「高知の発掘最前線 ～高知県の遺跡と発掘調査～」と題してご講演をいただきました。

埋蔵文化財の基礎知識として、県内に 2,453 カ所の埋蔵文化財包蔵地が確認されており、時代別の主要な遺跡について解説していただきました。

次に学術調査や緊急調査など発掘調査の方法について解説していただきました。保存については地域の歴史の証拠を残す。活用については史跡整備により視覚を中心に分かりやすく情報を提供する。博物館や資料館での展示、教育現場、各メディアへの情報提供などについて説明していただきました。最近の調査では、国事業として、安芸道路建設に伴う東浜土居遺跡発掘調査、南国市国営ほ場整備に伴う成願遺跡発掘調査について紹介していただきました。県事業として、都市計画道路高知南国線建設に伴う若宮ノ東遺跡発掘調査、史跡整備に伴う土佐藩主山内家墓所の石垣整備に伴う調査などについて紹介していただきました。講演を通じて身近で営まれた過去の暮らしや歴史・文化について親近感を持ってイメージすることができました。



写真3 吉成氏の講演

### 4. 防災セミナー 長崎 宏昭 氏

高知市上下水道局の長崎宏昭氏より「高知市公共下水道事業における災害対策」と題してご講演をいただきました。

下水道事業のあゆみについて、昭和 23 年に戦災復興の事業計画の中で下水道事業に着手し、昭和 25 年には市中心部において事業認可を受けました。しかしながら、当時は浸水対策を主体とし

た取組であったため、最初に下水処理場の供用を開始したのは、昭和 44 年とのことです。また、施設の老朽化の進捗を踏まえ、平成 21 年には長寿命化計画を策定し、老朽化対策に着手しており、平成 24 年には東日本大震災の致命的な被害を踏まえ、総合地震対策事業計画を策定するなど、事業も多様化しているとのことです。

管渠の耐震化については、現在の耐震化率は 50%程度となっており 1100 キロ程度ある管渠を、優先順位を定めて、対策を進めているとのことです。ソフト対策である、下水道BCPに基づく応急復旧体制の強化や、発災時に対策を確実に実施するための事前対策や防災訓練についてもご紹介いただきました。あらためて高知市における下水道事業の重要性や広範な防災対策が着実に進められていることを実感できる機会となりました。



写真4 長崎氏の講演

### 5. 懇親会

河野副本部長の開会あいさつと乾杯の音頭で祝賀会が開宴しました。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後、皿鉢料理を囲んでの宴席も復活し、参加者も多く盛会となりました。四国本部の大西事業副委員長中締めにより懇親会も無事終了することができました。皆様に感謝申し上げます。



写真4 大西事業副委員長の中締め